



たらぎ議会だより

No.138

令和8年5月7日
熊本県多良木町議会発行



3月 定例会議

R8 当初予算 p2~p3

特集
主軸事業 (町民の声) p4~p5

6人が質す p7~p12

桜の下で放水はじめ!!

消防団操法大会

上球磨消防本部
KAMIKUMA FIRE DEPT

令和8年度 石井町政2年目

一般会計当初予算

84億5千万円

どう使う!?



当初予算

当初予算

主軸事業

主軸事業

一般質問

同意・条例等・補正

研修報告

施政方針質問

事務組合議会報告

常任委員会報告

議会が注目

主な事業

【総務費】

- 1 旧中学校跡地等利活用
基本構想策定業務委託料
800万円
- 2 物価高騰対応支援事業
(1)上水道負担軽減
(2)LPガス支援
(3)畜産・酪農飼料補助
(4)商品券補助
1億1,500万円

【消防費】

- 3 避難所空調整備
1億9,000万円
- 4 河川監視カメラ
400万円

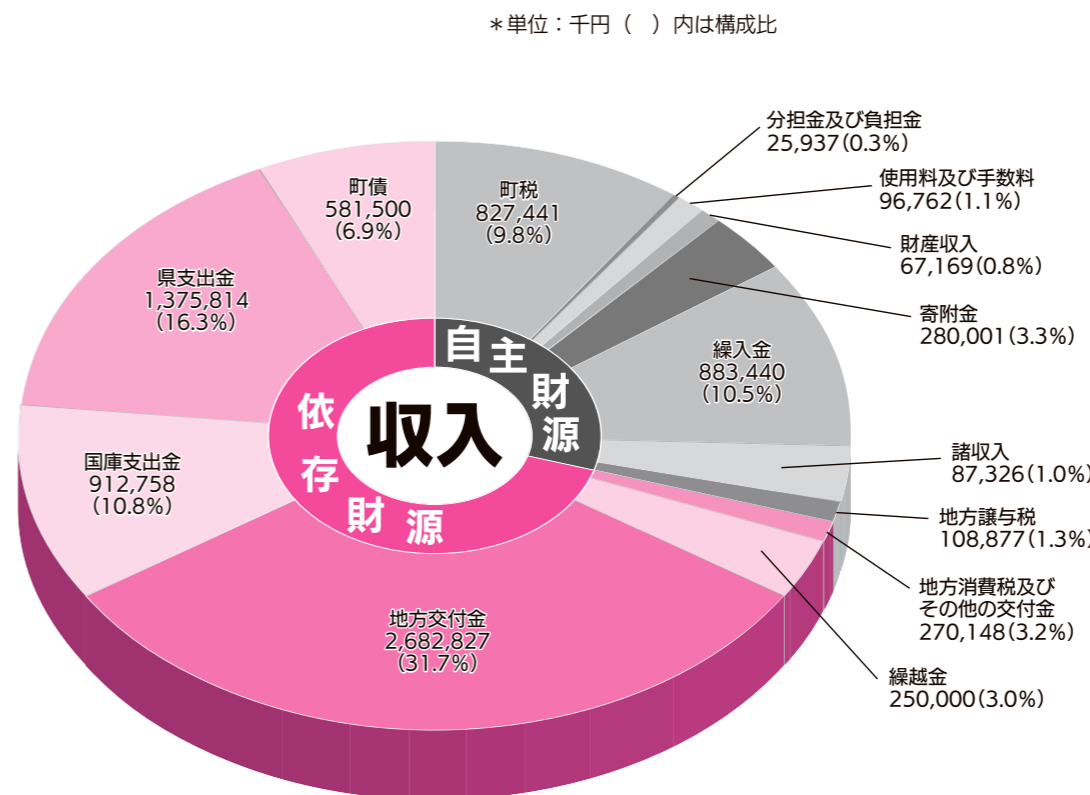
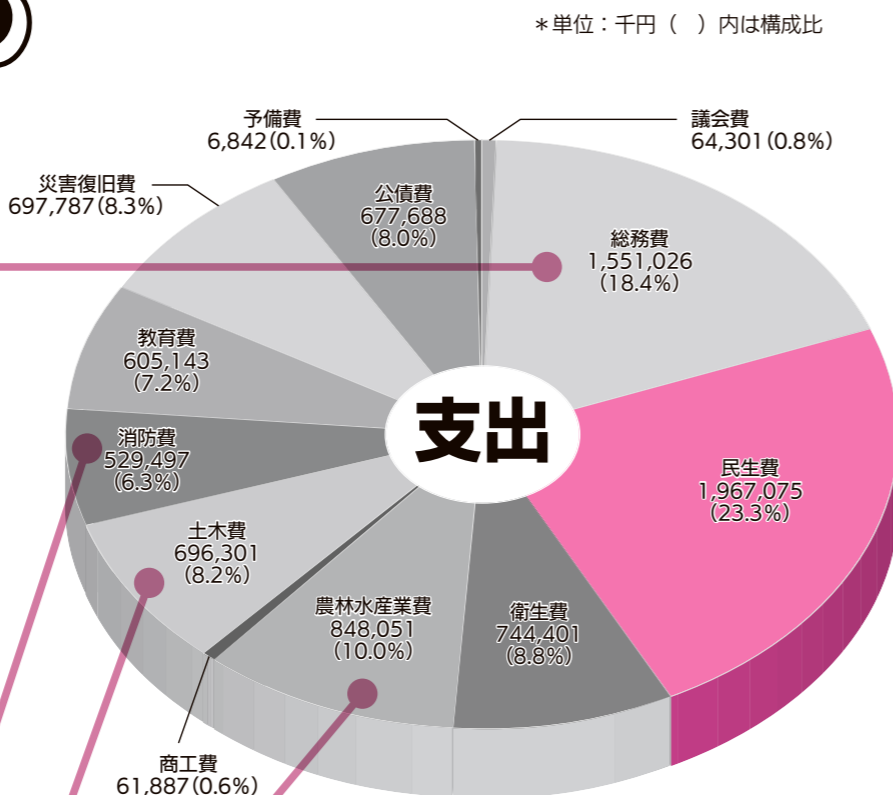
【土木費】

- 5 口の坪住宅建設工事
1億7,900万円
- 6 区画線・水路転落防護柵設置工事
850万円

【農林水産業費】

- 7 地域農業担い手営農環境
整備支援事業
1,000万円

※関連記事 P4-5



依存財源 70.2% 自主財源 29.8%

令和8年度 事業会計予算

(千円以下切捨て)

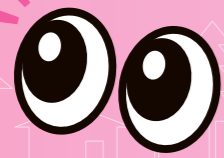
		上水道	下水道
収益的収支	収入	1億6,584万円	2億9,736万円
	支出	1億4,942万円	3億874万円
資本的収支	収入	420万円	3,508万円
	支出	8,710万円	1億3,091万円

令和8年度 特別会計予算

(千円以下切捨て)

会計名	予算総額
国民健康保険 (事業勘定)	11億1,593万円
国民健康保険 (直診勘定)	951万円
久米財産区	1,187万円
介護保険	16億6,235万円
後期高齢者医療	2億2,648万円

3月定例会議は10日～18日までの9日間開催し、22議案(条例等8件・補正予算6件・当初予算8件)を全議案審議可決した。
一般・施政方針に対する質問は6人が登壇し執行部の考えを質した。



議会が注目！町の取組み

主な事業の中から、町の皆さんの声と共にお知らせします

口の坪地区住宅建設工事

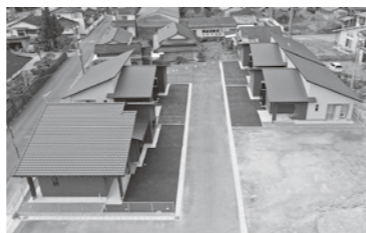
1億7,982万円

1戸月額7万円 18歳以下1人あたり1万円減額(3人まで)



かわなべ みずき
川辺 瑞紀さん

入居募集の要項の中に18歳以下の子供1人に対し1万円の減額制度がありますが、子供が高校を卒業すると減額がなくなるため、将来的な負担も考え、今回は申し込みを見送りましたが、今年度はまた4棟建設予定ですので前向きに検討したいと思います。



本年度4棟建設予定

指定避難所空調設備整備工事

1億9,000万円

町民体育館



つねまつ ゆき
恒松 由喜さん

町民体育館に避難された方やコロナワクチン接種された方から、空調設備がなかったことで寒暖対策に苦慮されたことを聞いていました。私もクラブ活動でこの施設を使用しますが、特に夏の練習は耐え難く、うちわ等で凌いでいる状態です。今回工事をされることで安心して避難でき、色々な行事が快適に活動できることを期待します。



空調設備(イメージ)

酪農飼料等高騰緊急支援事業

1,196万円

飼料費高騰による経営負担を緩和するための支援



しんぼり しげつぐ
新堀 重継さん

酪農に限らず円安と不安定な国際情勢を背景とする生産コストの上昇分をどうカバーするかという厳しい局面が続いています。

牛乳をはじめとした乳製品の買い控への恐れもあり価格転嫁も難しく、コスト削減にも限界があり、経営を持続するために必要な支援をお願いしたいです。



高騰する飼料

LPガス価格高騰対応生活者支援事業

944万円



むらかみ たけはる
村上 武春さん

LPガス料金の高騰が続く中、今回の支援金は実質的な値引きとなり、負担が少し軽減され大変助かります。私の場合一般よりも使用量が多いため直接的な補助は非常にありがたく、生活の安心感に繋がります。

今後も継続的な対策を期待したいです。



出店時のガス使用に支援

旧中学校跡地等利活用基本構想策定業務委託事業

800万円



まつおか のりよし
松岡 里益さん

「多良木町に住んで良かった。」と誰もが思えるような町づくりの一環として、多良木中学校跡地の利活用は重要課題の一つであると考えています。地域住民の思いや多良木町が持っている強みを最大限に活かし、人吉・球磨のハブ的存在になれるような事業を切に願います。



広大な敷地活用は

地域農業担い手営農環境整備支援事業

1,000万円



さかした なお
坂下 奈穂さん

認定農業者等又はそれ以外の担い手(地域計画に位置付けられた農業者等)への営農支援

私自身も助成金のおかげで農業を始められた一人としてこの制度にはとても感謝しています。

一方で農家の高齢化が進み、新しく始めたくてもお金の負担が壁となり新規就農を諦める若者が多くいます。

町の農業を守るためには手厚い応援が必要です。



いちごの収穫の様子

区画線設置工事・水路転落防護柵設置工事

850万円



まつもと けんじ
松本 健顕さん

通学路の区画線の明確化による安全向上と、水路転落防護柵の設置による児童の事故防止を通じて、子ども達や歩行者が安心して毎日を過ごせるような温かい環境づくりが一層進むことを願っています。



カラー舗装される学校付近交差点

河川監視カメラ設置事業

400万円

新たに3か所 黒肥地駅の瀬堰樋門・牛島地区排水樋門・柳橋川の排水路



たじま じゅんじ
田嶋 譲治さん

安全に正確な情報をいち早く感知し、人命を守るために欠かせないことです。球磨川と共に生活をしてきた私たちにとって、恩恵を受けながらも、災害との隣り合わせの状況での日々の暮らしを続けていく中で、河川監視カメラは、大切な役割を果たしてくれると期待しています。また設置後、情報の収集の仕方を指導していただくようお願いしたいと思います。



設置予定の監視カメラ

当初予算

主軸事業

一般質問

研修報告

事務組合議会報告

当初予算

主軸事業

同意・条例等・補正

施政方針質問

常任委員会報告

全議案を可決！

人事案件



教育長任命同意

よしむら ひでき
吉村 英亀 さん
(多良木)



固定資産評価審査
委員会委員選任同意

さわむら ひでとみ
澤村 秀富 さん
(黒肥地)

3年間、よろしくお願ひします。

条例等

8件(主なもの2件)

第6次多良木町総合計画後期基本計画を定めることについて

第6次多良木町総合計画(R4~11) 前期R4~R7/後期R8~R11
将来像 …… 自然と歴史が調和し、誰もが安心して住み続けられる活力と笑顔あふれるまち「たらぎ」

将来像を達成するための各施策を示した計画。基本目標及び基本方針を軸とした施策の展開を行うため、基本的には前期基本計画を踏襲しているものの、現在の社会情勢等により施策の見直しを実施している。

多良木町介護保険条例の一部を改正する条例を定めることについて

令和7年度税制改正に伴う介護保険法施行令の改正により、令和8年度において一部の被保険者の介護保険料段階が上位に移行することで、負担増となる恐れがあることから、令和8年度に限り特例的な減免措置を講じる規定の整備を行うもの。

R7年度 第8回3月会議

主な条例等と補正予算

財産の無償貸付について

貸付の相手方	名称 社会福祉法人 多良木福祉会 代表者 那須 弘文 住所 多良木町大字多良木 257 番地 1 (あずみ野)
貸付の目的	R8年4月30日をもって、公有財産無償貸付契約の期限を迎えることから R8年5月1日~R9年3月31日まで貸付交渉猶予のため11ヶ月間無償貸付をする。

R7年度一般会計補正予算 269,409千円を追加し8,067,790千円

地域未来交付金事業費

議会オンライン配信システム構築業務委託料 56,247千円
議会傍聴及び配信の環境を整備することで、住民の知る権利を保障するとともに開かれた議会を実現し行政及び議会についての関心・理解を深めるもの。

Q 就任1年の成果と目標は

A 未来を見据えてアップデート

石井町長

成果としては、保育料(副食費)無償化、クーリングシエールター開設、有償ボランティア事業を活用した高齢者支援、中学校入学祝金1万円上乗せなどとともに防災力防犯力を高める方針のもと災害時物資搬送会社3社との提携や防犯カメラ購入助成を実施した。また、新たに整備した定住促進住宅における家賃減免と県内初となる保証会社による家賃保証なども導入した。

吉村教育長

本年度は多良木・黒肥地小学校創立150周年を迎え学校の歴史と伝統を踏まえた記念式典や教育活動を地域の応援を得て展開した。多良木中学校も新校舎に移り教育活動も順調に展開されている。

くりとオンライン英会話の継続、8人の学習指導員による「多良木未来塾」を開設した。社会教育は、公民分館長研修会を開催し各分館の取り組み状況を確認する機会として、中学校の部活動地域移行については検討委員との協議を重ねてきた。今後は町民に運動習慣を高めるためのイベントを進め、また、伝統文化継承については各関係団体の力を借り文化財継承方法を模索していく。不登校対策としては「校内支援センター」を中学校に設置するとともにスクールソーシャルワーカーを配置して児童生徒、保護者や教職員からの相談業務に当たらせ、学力向上にも町研究推進事業を始めとした様々な施策を推進していく。

Q ジェンダー平等を進めて

A 当然の感覚として進める

質問

県はジェンダー平等が遅れているが、本町役場でも能力の高い女性職員が多いのに令和元年度から女性管理職員が一人もいない。町長の考えは、東総務課長

質問

(ジェンダー平等の)未来実現を町長はどのように進めていくのか。

石井町長

本町の女性職員も仕事ぶりや人間性、人事評価も踏まえると今後は女性課長も増えると思う。歴代町長も経験・能力を見て課長職を選んできたはずである。私自身もそうである。

石井町長

「ジェンダー平等」とは性別にかかわらず平等の権利・機会を持ち個性・能力を最大限に発揮できる社会を目指す考え方とされ、私自身も男女差別の意識はなく、ジェンダー平等や能力主義は当然の感覚としてとらえている。

猪原 清 議員



質問 就任1年を迎えたが、町民には「具体的成果が見えづらい」の声がある。どのような成果を出したのか、今後どのような取り組みをしたいと考えているのか。

不登校の問題に対しては町の教育支援センターとしてやすらぎ教室を登校日に合わせて週5日間開設した。学力充実については、熊大、熊大付属小中学校と連携した授業づ



定住促進住宅

《その他の質問》
中学校跡地活用策は



県HPより

おちあい 落合 健治 議員



Q 水道の水位低下等の緊急時の対応は
A BCP 計画にもとづき対応する

林田建設課長
気温が-4℃を下回る場合、防災無線・LINEなどで凍結防止策などの呼びかけと共に、職員による漏水調査・止水作業の実施を行った。また、緊急時には、本町の上水道事業業務継続計画（通称・BCP計画）にもとづいて対応する。

質問
雨に恵まれず、井戸が枯れるなどの話も聞く、湧水などで町民が困ったら給水車などで対応をするのか。
林田建設課長
球磨地域には給水車を有する自治体はないが、県等に給水車の派遣依頼をする。また、町が管理保有する給水袋での活動を計画している。



給水車での活動の予想図

質問
気温低下等が原因で水道管破裂による漏水での水位の低下があった。対策は。

Q 子どもスポーツに対する取り組みは、今後のようにしていくのか。
A 可能な限り支援

質問
多様化している子どもたちのスポーツに対する取り組みは、今後のようにしていくのか。
吉村教育長
総合型地域スポーツクラブへの支援を行うとともに生涯スポーツに親しめるように基礎を培う取り組みをしていく。また、子どもたちへの直接的支援・保護者負担の軽減・大会遠征費助成・指導者の確保などを協議検討していく。

石井町長
子どもたちが活動する機会の確保は、最優先するべきもので、財政面においても可能な限り支援をしていく。ニュースポーツに関しては基本的には協議していきたい。

施政方針に対する質問

Q 高齢者への支援策は
A 町の事業を利用して

石井町長
これまで、社会貢献されてきた高齢者への支援は重要かつ切実な問題だと認識している。在宅生活における買い物支援・移動支援・ゴミ出し支援など、社協を中心とした「有償ボランティア・えびす顔サポート事業」などを活用・利用していただきたい。



買い物難民の補助は？

《その他の質問》
①子育て支援について
②道路整備について

Q ゴミ出し困難者対策は

A えびす顔サポート事業で対応

質問
ゴミ出し困難者への対応・対策の進み具合はどうか。
新堀福祉課長
社会福祉協議会が主体となっているえびす顔サポート事業の利用会員34名のうち、10名が日常的なゴミ出しを希望し、その他の支援活動実績175件のうち71件がゴミ出しに関するものとなっている。



整理整頓出来ている地区のゴミ置き場

Q 町営住宅整備の方向性は
A 長寿命化計画に沿って進める

質問
町営住宅の居住者の高齢化や老朽化が進む中、管理・保全と住宅整備の方向性は。
林田建設課長
町管理の一般住宅、特定公共賃貸住宅、最近完成した定住促進住宅の入居率は100%となっているが、町営住宅の入居率は約70%で、昭和40年から50年代に建設されたものが多く、老朽化が進んでいる状況にある。

今後は町の長寿命化計画に沿って、解体・改修・建設を進めたい。

Q 各体育館の整備事業は
A 基本計画に沿って進める

質問
安心・安全な学校施設の整備・充実を図る事業として、各学校体育館照明のLED化・空調設備事業計画は。
黒木生涯学習課長
8年度に黒肥地・久米小体育館のLED化を皮切りに、9年度に中学校体育館のエアコン設置、10年度に多良木小

体育館のLED化及びエアコン設置と改修工事、11年度に黒肥地・久米小体育館のエアコン設置を事業計画に上げている。



解体が急がれる町営住宅

	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
久米小学校	LED	-	-	エアコン
黒肥地小学校	LED	-	-	エアコン
多良木小学校	-	-	LED エアコン	-
多良木中学校	-	エアコン	-	-

※多良木小学校についてはR10年度に大規模改修工事を予定

《その他の質問》
行政座談会について

くぼた 久保田 武治 議員

まえだ あや
前田 文議員



新堀福祉課長

R3年度に認知症カフェの設置に向け準備したが、新型コロナウイルス感染症の拡大時期と重なり実施は困難な状況だった。現在においてもカフェ運営スタッフの確保や事務負担等の課題からカフェ設置が遅れている。

Q 高齢者の社会参加促進は

A 「認知症カフェ」(*)を開催していく



この認知症カフェは今後、認知症対策の中でどのように位置付けていくのか。
新堀福祉課長
2月に行った試験実施を通じて、相談・交流の場の確保は極めて重要であると再確認した。しばらくは町主導による開催を継続していく。

※「認知症カフェ」とは

認知症当事者やその家族、地域住民が誰でも気軽に集い交流や相談を行うことで孤立の防止や専門機関との連携強化を図ることを目的とした活動。

Q 高齢者の生活支援は

A 情報収集し検討する

的な問題から躊躇される方がいるという実態が明らかになった。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査についての町民アンケートの中で、聞こえについての設問の結果は。

日常生活で聞こえにくさを感じる	34.7%
誤解や聞き間違いで困ったことがある	42%
ストレスや疲れを感じる	21.5%
会話を避けることがある	17%
外出や交流を控えることがある	11%
補聴器を使用している	17.6%
高額で買うのをためらう	10.6%

有効回答数 2,046名

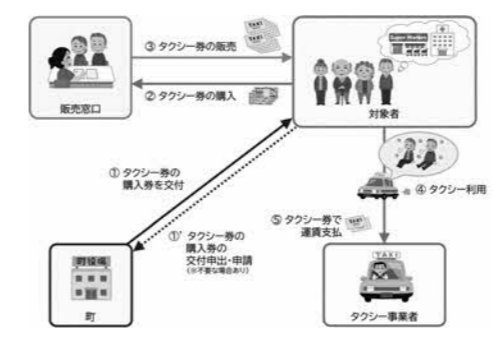
石井町長
時期介護保険計画の策定委員会の意見を聞き、他町村の導入事例等も参考にし、前向きに検討する。



聞こえの支援を求めて～耳の会の活動～

乗合タクシー制度の見直しは。

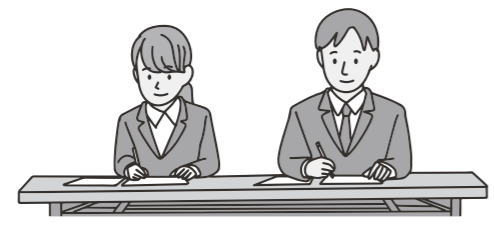
石井町長
高齢化社会に向けて移動支援の充実が重要だと考える、担当課としっかり協議していく。



徳島県藍住町 HP より

東総務課長
元職員を選考により再び正規職員として採用するキャリアリターン制度は、即戦力となる人材を確保し、様々な働き方の支援、人材確保の手段として注目されている制度である。有益であれば今後の検討課題としたい。

石井町長
職員確保という点で非常に魅力ある制度だと思う。先進事例等を研究する。



《その他の質問》

- ① 町営住宅への入居募集について
- ② 町長の業務について

Q カムバック採用はできないか

A 有益であれば導入したい

質問
公務員や一般の会社でも辞めてしまう時代であるが、のちに役場は良かったと思う人もいるかも知れない。一度退職した職員は、試験に合格して採用された事があるので学力に問題は無い。カムバック採用に関しては筆記試験無しで採用できないか。

となる予定である

質問
人口が減ると譲与金額も減ってくるのではないかと思うが今後の予想金額は把握できているのか。

水田農林整備課長
算定基準の人口割の比率が削減されており、また全国の間地等の市町村においても人口減少の問題を抱えており大幅に変わることはないと思うが、不透明な状況であり把握はできないという形になっている。

質問
県に要望しているのか。

水田農林整備課長
毎年、県営の治山事業へ要望書を提出しており、今年も把握している23ヶ所全て要望している。

質問
森林環境譲与税は大変ありがたい財源だが、R7年度の使途は。

水田農林整備課長
現地調査・森林整備等に1,232万6千円、町産材使用住宅600万円、その他で合計3,548万6千円の予算額で譲与税予定額が4,600万8千円なので、差額の1,052万2千円を基金として積み立てし、基金残高予定額が2,524万7千円



山腹崩壊

質問

綺麗にしゅん濇しても大雨の度に土砂が堆積してしまう。流れ込む土砂を止めなくては、いけないが、砂防えん堤整備等の必要な箇所はどの位あるのか。

Q 砂防えん堤整備は

A 要望書を提出している

水田農林整備課長
近年の豪雨等により、山林の山腹崩壊、沢からの土砂流出等の箇所が増加している現状である。治山えん堤の必要な箇所は13ヶ所、山腹工の必要な箇所は10ヶ所合計の23ヶ所となっている。

山林被災地の確認方法は、職員での現地調査及び森林監視員の巡回、住民からの通報相談により現地の把握を行っている。

質問

源嶋 げしま
たまま 議員





林田 俊策 議員

Q 施政方針に対する質問

質問 中学校跡地の活用はこれまで庁舎内プロジェクトで検討し町民アンケートを取り整理してきたと思うが、町長選挙立候補時点ではどのような考えを持っていたのか。

石井町長

当初プールだけは残しておいて「テントサウナ」などよそにないものを作り集客できないかと思っていた。しかし解体が早い段階で行われたため、すでに「青写真」的なものは出来ているのではないかと推測していた。大規模な企業が来れば「人手不足」のおり、既存の企業が厳しくなることも考えていた。今後、町民の見や専門家の視点を取り入れ方針を決める。

質問

物価高騰対策事業に対し町民は「不公平感」を感じている。町長の考える「公平感・平等感」とは。

石井町長

「完全な意味での一律の公平性」は難しいと思うが社会状況や交付の趣旨を踏まえ、必要な支援を行うことが必要である。できるだけ公平化に近づけながら説明責任を果たせるようやっていく。

質問

財団での返礼品のブランド化とあるがどう進めるのか、また派遣職員2名の今後はどう考えているのか。

石井町長

ブランド化は単に商品販売するだけではなく品質やストーリー等の地域性の魅力を整理し、本町の産品としての情報を発信することで価値を高めていくことと考えている。後継者育成の観点から2名の

町職員を「公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律」にもとづき、職員の派遣期間5年を超えない範囲内でたらいぎ財団に派遣しているが、たらいぎ財団の方で、できるだけ早く後継者を育成していただくことを望んでいる。

先進地に学ぶ 開かれた議会を!! 議会中継システム研修 議会活性化特別委員会

活性化特別委員会は「議会中継システム」の研修を千葉県多古町にて行った。

研修は鶴澤議長をはじめ5名の議員、2名の事務局職員より「議会中継システムの業務実施要項」をもとに説明を受けた。

H25年より13年もの間運用されており、これまでの研修先では最も長い実績をもたれた、まさに「先進地」である。

導入の背景として開かれた議会を目指す中で、議会広報紙におけるページ制限等の課題に対し、スマートフォンの普及に伴い、議会中継や録画配信を視聴しやすい環境になったことがあげられる。

システムに係る費用については、ライブ配信に4万円/月、録画配信に6万円/月、その他初期費用や追加設定費用等22万6,500円との説明を受け、我々が想像していたものより抑えられた金額に感じた。

アクセス数も「議員改選議会」中継をはじめ数多くの町民が視聴されていたことがわかった。

町民側としては「住民サービスの向上」そして議会は「開かれた議会」への道が開かれていくと感じた。

今後の課題としては「更新費用の高額化」や長年の実施での「緊張感の薄れ」があるとのことである。

本町にとっても、これから「中継システム」の議論の益々の加速化を計り執行部に対しての「予算の獲得」に向けての働きかけを進めなければならない。

文責 林田



1月29日 多古町役場庁舎前にて

氾濫を防げ 治水の基本 ダムのメカニズムは 球磨郡町村会議員研修

川辺川ダム砂防事務所 元所長 齋藤正徳氏を講師に迎え気候変動による台風・洪水等による水面上昇のメカニズムとその対処に対する考察がしめされた。

氾濫を防ぐ対策の治水の基本的な考え方は水位を下げるのが原則で4つの基本的方法があり、①河川掘削、②引堤、③放水路、④洪水調整施設の河川整備が必要である。

バックウォーターの現象は球磨川本流の水位上昇に伴い、支川の水面との勾配が小さくなり洪水となる。そこで「土地利用者と一体となった治水対策」住民との合意形成を図り「田んぼダム」等の流域での貯留を強化し流域全体での流出抑制による災害リスクの低減が必要となってくる。そうしなければ下流まで災害が広がり「復旧スピード」が遅くなっていく。

球磨の森林保水能力は300mmの雨の場合100mmであとの200mmは球磨川へ流れることとなる。

また九州の地形的特徴は南北脊梁山脈による東西に河川が形成され線状降水帯の影響を受けやすくなっている。そのためにR2年7月洪水とR4年9月洪水の雨量が示すように球磨川と川辺川のピーク水量がR2年はピークがいっしょになり、R4年はずれているとのことである。

このことによりこの「ピーク」を『川辺川ダム』によりずらす調節することが有効とのことである。

そこで川辺川流水型ダムは今後の気候変動を見込み「洪水をためる能力」を旧計画より1.4倍とし環境影響や平常時の水平水位を保ち「川自身が持つ浄化能力」に配慮しつつその環境保全ダム構造が考慮されていると感じた。

文責 林田



2月6日 錦町役場にて

厚生文教常任委員会

次のステップへ！

「多良木青蓮寺駅」に改名

R2年7月豪雨で被災したくま川鉄道は今年9月20日に全線再開を決めた。また、それに伴い、川村駅を移転した新駅名を「相良十島神社駅」と東多良木駅名を相良氏遺跡群に由来する「多良木青蓮寺駅」に変更することを、3月23日のくま川鉄道再生協議会総会で決定した。

全線開業再開で今後この地域の観光活性化が一段と進むステップになればと沿線自治体からの期待は大きい。

文責 猪原



「多良木青蓮寺駅」に改称される東多良木駅

旧中学校跡地に予算付け

町は今年度中の旧多良木中学校跡地等利活用に向けた基本構想策定業務を民間コンサルタントに委託することとした。

旧多良木中学校跡地周辺の広大な敷地を町民が望む形での利活用策が具体化されれば町民の健康増進や関係人口の創出に対する期待はますます高まるであろう。

再開発に向け大きなステップが踏み出されることを期待したい。

文責 猪原



町民が期待する中学校跡地活用

総務常任産業委員会報告

地籍調査の「今」！

多良木町の地籍調査は、平成6年に開始され、約30年が経過、黒肥地の一部地域を残し87.5%が終了している。残りの12%の区域をどう進めていくのか大きな課題だが、国や県の補助金に大きく依存し左右される側面があり、議会としては計画的な調査が継続されるよう積極的な予算確保を求めていく。

今後残りの12%を確実に終わらせるために、所有者の立ち合いの協力を呼びかけるとともに「次世代に確かな境界」を継げるよう切にねがう。現在、調査終了している地域でも境界が決まらなかった場合、「筆界未定」※の処理のまま成果としてあがっているため、町民への「相続・贈与・売買・農地転用」等へのデメリットも懸念され、その後は個人対応となる。効率的かつ公平に事業が進むよう進捗状況を見守っていく。

※筆界未定 …… 不立ち合い・立ち合い等により境界が決まらなかった土地で、成果として法務局に登記されるため、町事業としては調査終了となり、境界線が表示されない。

文責 落合



地籍調査完了地域図

地籍調査完了地域（国有林含む）
※一部、法務局にて登記が終わっていない地域があります。

球磨郡公立多良木病院企業団議会報告

定例会議がR8年3月5日に開催された。

- ① R7年度球磨郡公立多良木病院企業団病院事業、介護老人保健施設事業及び総合健診センター事業会計の補正予算、他1件。
 - ② R8年度球磨郡公立多良木病院企業団病院事業、介護老人保健施設事業及び総合健診センター事業会計予算53億1,084万6千円、他4件。
- 全議案、原案通り全会一致で可決した。なお多良木町の負担金は3億43万6千円である。

一般質問

- 猪原議員（多良木町） …… 2026年6月診療報酬改定への対応について 他2件
- 吉田議員（湯前町） …… 本地域における地域包括ケアと在宅医療について
- 久保田議員（多良木町） …… 医師奨学貸付金について 決算審査の意見から

人吉球磨広域行政組合議会報告

- R8年第1回定例会が2月26日に人吉球磨クリーンプラザ大会議室で開催された。球磨村議会の選挙に伴い議長が不在となっており、議長選挙は指名推選で行うことが決定し、各地区から選出された8名の選考委員により、あさぎり町選出の山口和幸議員が推選され、全員一致によって議長に選出した。新ごみ処理施設建設に関する特別委員会の委員長に、人吉市選出の西信八郎議員、副委員長に湯前町選出の遠坂遠太議員を互選した。代表理事から定例理事会における主な審議等について報告があった。条例1件・R7年度一般会計補正予算について補足説明があり2件とも原案とおりの「可決」

- 3月24日 R8年度一般会計予算・一般会計経費の負担金の総額の補足説明があり歳入歳出予算の総額は20億5,993万9千円と定めた。

多良木町の負担金総額：1億7,824万5千円

運営費：1,032万6千円 斎場費：710万5千円 清掃費：1億6,081万4千円

上球磨消防組合議会報告

定例会議がR8年2月27日に開催された。会期をR8年2月27日の1日限りに決定。米本議長から辞職願の提出があったため、橋本副議長が議長職を務め議長辞職許否を行い、米本議長の辞職を全会一致で許可した。議長選挙は、あさぎり町選出の橋本誠議員が推選され、全会一致で議長に選出した。その後、橋本議長が落合議員を指名し、副議長の当選人とすることを全会一致で承認した。

- 議案1号 上球磨消防組合火災予防条例の一部改正について
- 議案2号 R7年度上球磨消防組合一般会計補正予算について
- 議案3号 R8年度上球磨消防組合一般会計予算について
(歳入歳出それぞれ9億3,100万円とする一般会計予算)
- 議案4号 監査委員の選任同意について
(湯前町議会議員 倉本豊議員を全会一致で同意)

全て原案の通り全会一致で可決した。



妙見野より撮影

豆ずしき

中学校の卒業式はどぎゃんやった～？



多良子

中学校の卒業式はどぎゃんやった？



球磨雄

卒業式は良かったばい👍🎉🎊
そいばってんな卒業の生徒は77名じゃったばい👍



多良子

たった77名じゃったとね!?!🤔



球磨雄

そぎゃんばい！
おいどんが同級生は、8クラスで320名くらいおってな～
今でも同級生の顔が分らんくらい多かったとば～い👍



多良子

そぎゃんな💧8クラス320名ってえらい多かったとね～👍
今年の小学校、中学校、入学生は何人おったんね？



球磨雄

今年是多小26名、久米小4名、黒小12名、柳野分校2名の
合計44名で、多中が71名ばい👍



多良子

びっくりした～💧小学校合わせて44名で、中学校が71名げな
なんでどぎゃん少なくなったとかな～👍💧



球磨雄

どうしても少子化になれば子どもは減んもんな～👍
今後は子どもたちのことばしっかり考えて、学校の統廃合は
考えんばん時期が目前に来るとばい👍

文責 豊永

想 おもい

「貧乏人は麦を食え」昭和25年のちに所得倍増計画を唱え総理となった池田隼人大蔵大臣(当時)の言葉である。このことは経済原則に沿った言葉ではあるがマスクミの誇張報道により国民の反発をかい辞任に追い込まれた。戦後「平等」が基本となった日本人には「耐えられぬ言葉」であったに違いない。「平等性・公平性」をどう考えているのか、今回町長に対し施政方針の質問をおこなった。この疑問は私の議員生活の中で疑問でもあった。我ながらよくこの「禅問答」の様な事をよくやった。「平等感・公正感」とは一体どうあるべきか、ある人から一筋の光をもらった。「みんなを同じにするのが平等だ」というスタートが間違っているんだよね、日本の平等感「量感」で考えるから間違ってしまう。「沢山あることはよい事」と考えるから「貧乏くさくなるし、腹が立つ」「みんな同じ分量」と言い出した時点で「貧乏くさい平等になっってしまう」

(文責 林田)

広報特別委員会

- ◎前田 文 豊永 好人
- 猪原 清 林田 俊策
- 源嶋たまみ 落合 健治